

学年	1	教科	理科	科目	地学基礎	単位 (週時数)	2
【年間の目標】 地球に暮らす私たちは地球の問題と無関係にいることは不可能であることを理解し、地球、そして地球を取り巻く宇宙空間についての基礎知識を学び、時間的・空間的な見方や科学的な考え方を理解する。							
【使用教材】 地学基礎（啓林館）							
1 学期中間考査まで							
【単元】 第1部 第1章 地球 第1部 第2章 活動する地球（第1節、第2節）							
【目標】 ・地球の大きさや形、内部構造などを理解する。 ・地球の形の特徴と大きさについて理解する。 ・地球の内部構造については、その調べ方にも触れ、現在行われている調査・研究方法を理解する。 ・地殻変動はプレートテクトニクスで統一的に説明できることを理解する。 ・地震活動については過去のデータを多く示し、将来必ず日本列島で起こる災害であることを理解する。							
1 学期期末考査まで							
【単元】 第1部 第2章 活動する地球（第3節） 第3部 第1章 地球の誕生							
【目標】 ・火山活動や火成岩について、マグマの発生や性質を軸に相互に関連付けながら理解する。 ・宇宙の誕生から太陽系と地球の誕生までを一連の流れで扱い、その過程および他の惑星の特徴を取り上げることで、地球が生命を生み出す条件を備える惑星となった理由を理解する。							
2 学期中間考査まで							
【単元】 第2部 第1章 大気の構造 第2部 第2章 太陽放射と大気・海水の運動							
【目標】 ・大気の構造と大気の鉛直方向の動きによる雲の発生を、大気中の水蒸気の流れとの関連で理解する。 ・大気圏の層構造については、高度による気圧と気温の鉛直方向の変化をもとに理解する。 ・太陽からのエネルギーとそのゆくえという観点から、地球規模での風系の成因、海水の循環とそれらの気候への影響について理解する。 ・地球規模で熱が輸送されていることについて理解する。							
2 学期期末考査まで							
【単元】 第2部 第3章 日本の天気 第3部 第2章 地球と生命の進化							

【目標】

- ・ 中学校の内容をふり返りながら，日本の四季の天気の特徴を理解する
- ・ 第2部の第1章と第2章で学習した内容を身近な天気という題材につなげ理解を深める。
- ・ 第3部の第1章で学習した地球の誕生以来，約46億年の時間を通じて，地球の表層部やそこに生息する生物が変化してきたことを理解する。
- ・ 環境の変化と生物の進化が相互に影響し作用してきたことについて理解する。

3学期期末考査まで

【単元】

第3部 第3章 地球史の読み方

第4部 自然との共生

【目標】

- ・ 第3部の第2章で学習した地球の歴史について、地層や堆積岩，化石に残された記録から知ることができることを理解する。
- ・ 地層や堆積岩の形成過程を解説することで、その理由や、そこから具体的に何が読み取れるかについて理解する。
- ・ 地学基礎全体のまとめとして，自然との共生を念頭に置き、1年間で学んできた地学基礎の学習内容を人間生活と関連付けて考える。